



7年ぶりの東北大会出場を決めた大館高演劇部
(大館高校)

大館が最優秀、東北へ

全県高校「観客を楽しませたい」
演劇

横手市で19、20日に開かれた第42回全県高校演劇発表会で、大館高校の「Father's day」が最優秀賞を受賞し、7年ぶり2度目の東北大会出場を決めた。親子愛を描いたコメディで、部員たちは「東北でも観客を楽しませたい」と意気込んでいる。

演劇部は1、2年生14人。父親と大学生の息子、その友達の3人が繰り広げる60分のコメディを演じた。自宅で父親の昔話や説教を聞くうちに、親子で本音をぶつけ合い、最後は父へ料理を作って距離を縮めるという内容。部長の畠山望美さん(2年)は「間で笑いを取るなど、テンポに気を配って演じました」と話す。

11校が出場した全県大会は、「観客を楽しませることと、東北を狙って」熱演。客席から笑いが起き、「役が作り込まれている」などの評価を得て、16年以來2度目の最優秀賞に選ばれた。東北大会に向けて、畠山さんは「台本を読み直して一から作り上げ、悔いのないように演じたい」と話している。

県北代表の大館鳳鳴と大館桂は優秀賞を受賞。本県から大館と湯沢が出場する東北大会は12月16、18日、山形市で開かれる。